



中学3年生が1学期の作品製作で「ティッシュボックスカバー」を製作しました



日本の伝統的な手法

「刺し子」で模様を縫いました

手縫いとミシンで作ったボックスティッシュカバーに、刺し子を使って、色鮮やかに模様を縫いました。刺し子の技法は、小学生の時に学習した並縫いと同じです。下の写真(左)のように、針に何度も布をすくって縫い進めましょう。



手順



チャコペンシルでしるしを付けてから、裁断します



ミシンで縫います



ボタン付けでは、糸を根元に巻き、足を付けます。



ティッシュボックスカバーに刺し子を縫って完成です！

授業の様子



家庭科の梶江先生です

玉止めがずれないようにしっかり押さえましょう！



刺し子の糸が目立って、柄が鮮やかですね



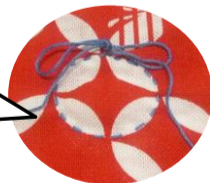
手縫いをしていると、凄い集中力で、あっという間に終了のチャイムが鳴りました

黄色と黒のコントラストが綺麗です



刺し子の作品

刺し子にリボンが付いていて、可愛いですね



斬新なアイデアで模様を縫っています

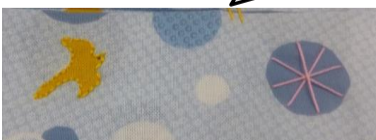


赤の糸が、うろこ柄に映えますね



柄ごとに違う模様の刺し子が施されています。

柄と刺し子がとても合っています



波の模様になっています

中学3年生の夏期宿題として、ポケットティッシュケースの製作を出しましたが、完成しましたか？
2学期の最初の授業での提出ですので、忘れずに！



編集後記

実習の最初に、裁縫が苦手と言う生徒がいました。丁寧に教えていくと、時間はかかりましたが、作品が完成しました。苦手だった裁縫に少し自信を持ってくれたようです。完成した作品は、それぞれ個性豊かな仕上がりになりましたので是非、自宅で使ってくださいね。



～ お知らせ ～

- ・1学期に製作したティッシュボックスカバーを、9月8日・9日の紅中央祭(学園祭)で、中3教室と調理室横に展示します。ご来校の際は、是非ご覧になってください。
- ・にんべんさんのかつお節教室が、9月に開催されます。和食に欠かせない、だしについて学習しましょう。